

地方都市視察報告書

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

1 実施日

平成28年11月2日（水）

2 視察地 愛知県愛・地球博記念公園

【県の概要】

(1) 面積 5,172.48 km²

(2) 人口・世帯数（平成28年8月1日現在）

人 口 7,505,559 人

世帯数 3,101,901 世帯

(3) 2005年に開催された日本国際博覧会『愛・地球博“EXPO 2005 AICHI, JAPAN”』“自然の叡智”をテーマに21世紀初の万博が愛知県で開催され、121カ国4国際機関が参加し、会期中の185日間に2,200万人が来場した。

万博は、愛知県の長久手会場、瀬戸会場の2会場で開催され、長久手会場跡地は、愛・地球博の理念と成果を引き継ぐ公園として整備がすすめられ、愛・地球博記念公園がオープンした。

2006年7月15日に第1期オープン。緑と水に囲まれた自然豊かな空間で、ゆっくりと1日誰もが楽しみ安らぐことのできる公園として愛称を募集し「モリコロパーク」というおなじみの名前で開園となった。

2007年3月25日に第2期オープンし、2009年4月に南駐車場の開設、2009年7月に野球場の開設、2010年10月に地球市民交流センターが開設された。

その後、2012年4月に庭球場・フットサル場・旧青少年公園時代から人気だったサイクリングコース開設し、2012年10月に全面天然芝の多目的球技場開設、2013年6月には里山実験フィールドあいちサトラボが開設された。

なお、現在も「博覧会の理念と成果を継承する都市公園」、「青少年公園の歴史を活かした都市公園」、「新しいニーズに対応した都市公園」、「多様な自然環境を育む都市公園」の4つを基本方針とした基本計画に基づき整備に取り組んでいる。

さらに、中核広域防災活動拠点である本公園は、災害時において救援部隊（自衛隊等）の活動点として活用されるため、そのための機能が必要となる。そこで、本公園の広場や建物などの施設は、平常時の一般利用に加え、災害時に必要な防災機能を発揮できるものとして整備を行っている。

3 視察項目・内容

(1) 万博後の施設活用及び管理状況について

(2) 文化及び観光の視点における取り組みについて



4 視察参加者

【委員】

えのき 秀 隆副委員長、三 沢 ひで子委員、井下田 栄 一委員、
佐 藤 佳 一委員、 桑 原 羊 平委員、平 間 しのぶ委員、
志 田 雄一郎委員、 あざみ 民 栄委員、有馬 としろう委員、
宮 坂 俊 文委員、 雨 宮 武 彦委員

【随行】

議会事務局議事係 氏家あふゆ 唐澤一彰

5 視察結果・所感

愛・地球博記念公園を視察した。この公園は昭和 45 年に愛知青少年記念公園として開設されたものであるが、愛・地球博を機会に主会場として整備されたものである。健康で精神的な豊かさと楽しさに満ち、県民と共に成長・進化し続ける 21 世紀型の公園を目指すものとされている。以下、視察結果、所感を箇条書きに記す。

- ① 万博以降、運営に苦慮しているとの様子であった。イベントを行うに際して来場者の確保や、若年層をいかに取り込んでいくかという点が問題として挙げられていた。又、近隣の市としては長久手市、日進市、豊田市などが存在するが、なかなか連携、協力、支援体制作りが難航しているとの事であった。県と市という枠組みの違いによってうまく連携が進まないことに関しては縦割りの弊害といえる。
- ② 最も印象深かったのは県民参加でマネジメント会議を開催している事であった。86 名の参加者の中には県民の多くが参加しているとの事である。ボランティアの活動拠点も 3 か所に設置されていて住民参加の仕組みがしっかりとなされている点は大いに参考になった。
- ③ 施設管理活用及び管理状況に関しては、広大な面積を管理しなければならないという事で、細部までの管理となると膨大な資金を要するという事が理解できた。新規施設を開設するにあたっては長期的な計画を立て、特に施設規模に関しては十分に精査したうえで物事を進めていく大切さを知った。一方、災害時には中核広域防災活動拠点として活用される点は非常に興味深いものである。
新宿区においてはこれほど広大な敷地を管理していくという事はないと推測できるが、施設管理に関しては様々なアプローチの仕方があるという点において大いに参考になった。
- ④ 新宿区においては、愛・地球博記念公園ほど大掛かりな規模の施設は存在しないが、今後、漱石山房記念館やこれまでの施設における運営方法に関して、将来も持続可能なものとしていくための手法として、愛・地球博後の取り組みは参考になった。

6 主な質疑項目

- (1) 指定管理の維持管理経費に対する収入の増減について
- (2) 公園の来場者の客層について
- (3) 市民参加をすすめるための会員マネジメント会議の開催について
- (4) 記念公園のPRと愛・地球博後の活用状況について
- (5) イベント開催における近隣市の協力・連携について

7 その他

【共同視察者】

文化観光課長 橋本 隆

新宿観光振興協会担当課長 菊地 加奈江

